

心肺蘇生法の手順

4. 気道を確保する

傷病者を仰向けに寝かせ、あなたは傷病者の顔を横から見る位置に座ります。片手で傷病者の額を押さえながら、もう一方の手の指先を傷病者のあごの先端、骨のある硬い部分にあてて持ち上げます。このとき、あごの下の軟らかい部分を指で圧迫しないよう注意してください。傷病者の顔がのけぞるような姿勢になり(頭部後屈)、あご先が持ち上がるはず(あご先挙上)。このような動作によって傷病者の喉の奥を広げ、空気(息)を通りやすくすることを「気道確保」と呼びます(図)。



図 頭部後屈あご先挙上法による気道確保